



今日は76回目の終戦記念日です。昭和の時代を43年、平成を30年、令和になって3年、大変なこともたくさんあったけど、とにかくにも私たちの国は、今日まで戦争のない日々をつないできました。

しかし、戦後生まれの人が85%を超える中、戦争の記憶はしだいに風化し、さまざまな陰が忍び寄っているように感じます。平和は歩いてきてくれないけど、戦争は見張っていないと、『だるまさんが転んだ』みたいにひたひたとやってくる。学校の平和教育もいつの間にか道徳教育に押しやられている今、『いのちと平和と子どもたち』の大切さを歌い継ぐ『ぞうれっしゃ』の歩みを絶対に止めてはいけなと、強く心に誓った敗戦の日です。

緊急事態宣言下で開催されたオリンピックが、ひとまず閉幕しました。選手たちの活躍はどれも素晴らしく、その嘘のない涙に胸が熱くなりました。でもその中には、このオリンピックに参加することへの葛藤を語る涙もあって、辛かったです。

一方、恐れていたとおり、コロナの感染爆発が止まりません。医療関係者の疲弊と焦り、政府への怒りは、行き場を失って沸騰と煮えたぎっている感がありますが、だからといって最前線で命と向き合っている以上は、この場を投げ出すわけにはいかない。決して逃げない！その悲壮なまでの決意はほんとうに貴く、感謝を表す言葉も見つかりません。

さて今回は、超絶技巧であらゆる音とクラシックを融合、『クラシックで笑顔を創る』愉快なデュオ『スギテツ』さんです。



皆さん、こんにちは。11年前、『川口ぞうれっしゃコンサート』に出演させていただいた、ピアノとヴァイオリンのデュオ『スギテツ』のピアノ担当、杉浦哲郎です。

当時は東京に住んでいましたが、今は地元の名古屋を活動の拠点としていまして、実は「ぞうれっしゃ」の舞台の東山動物園にほど近い場所に住んでいます。

昨年からは保護犬の里親になり、毎朝近所を散歩しているのですが、動物園の近くを歩いていて、ふと『ぞうれっしゃコンサート』のことを思い出したことがありました。その数ヶ月後、大宮でのコンサートに、合唱団の方々のご来場をいただいたのも何かのご縁だなあと感じます。

30周年コンサートが昨年中止になってしまったそうで、とても残念に感じますが、皆さんの歌声に元気づけられる人たちもたくさんいらっしゃると思います。

そうそう、名古屋に住んでいながら、埼玉には色々ご縁をいただいております。FM NACK5で毎週日曜日朝6時から、『スギテツのGRAND NACK RAILROAD』という、鉄道をテーマとした番組で、パーソナリティを務めています。列車つながりで、川口ぞうれっしゃ合唱団の皆さまにも、ゲストとしてスタジオに来ていただけるといいですね！

皆さまの今後益々のご発展を祈念しております。



岡田鉄平さん

杉浦哲郎さん